



一般質問

上杉 育子 議員

# 農業政策について



**【質問】**今年度中に作成すると言われた農業再生ビジョンの進捗状況を問う。

**【市長】**約2か年で策定することとしている。その中で来年度施策に反映できる部分について、具体的取り組みの最終調整を行っている。ビジョンを前提にした実際のな複合化等のモデルづくりを始める。

**【質問】**ビジョンの核は何か。

**【農業政策課長】**複合化をもとに、雇用の拡大を来年度から順次図っていく。

**【質問】**農業公社の基本的スタンス、方向性は出たのか。

**【市長】**第一義的役割は担い手の育成と考える。各農業公社で事業展開が異なっている。事業計画の整理、見直しが必要である。

**【質問】**新規就農者、担い手

育成の支援体制と今後の展開を問う。

**【市長】**里親の皆様から、経済面、技術面、生活面などをフォローしていただいている。新規就農者支援チームへの参画や情報共有の場をつくっていく。

**【質問】**付加価値をつけた加工ができる体制づくりと雇用の確保について問う。

**【市長】**佐渡ならではのイメージのブランド化という付加価値をつけて単価の高い販売ルートを築く。交付金等の財源を有効活用し雇用機会の拡充を目指す。

**【質問】**市設置の農産物加工施設の今後の方針を問う。

**【農業政策課長】**拡充等は考えていない。今後、市が考えている6次産業や、これから商品化したいものに使えるのであれば検討する。

**【質問】**島内循環の仕組み、

地産地消の取り組みを問う。

**【市長】**産業振興課から農業政策課への業務移行による調整がスムーズになった。地産地消から地産地産への考え方の転換が必要。需要に応じた生産への誘導を図るため、関係機関と検討を進めており、次年度以降、段階的にモデルをつくっていく。



一般質問

中川 直美 議員

# 住民合意のない社会教育施設の廃止解体は



**【質問】**両津、新穂、真野、小木地区の体育館等の社会教育施設の廃止解体は所管の教育委員会の方向に基づき進められるが誰が決めたか。

**【教育長】**予算については市長の権限である。

**【質問】**教育委員会の独立・中立性からみても、まずは教育委員会が市全体の社会教育のあり方を決めた上で、はじめて廃止解体となるのが法律だ。間違っているのではないか。

**【教育長】**市の財政状況から身の丈に合った政策を教育委員会としても考えていく。

**【質問】**各地の住民説明会で「市の廃止解体の意向を示しているのに、まだ決めていない」と説明しておきながら、いきなり廃止解体予算を議会に提案するのはおかしい。要は「合特債で急ぐので住民の理解はないが議会では認める」という事。市計画の公共施設見直し手順書に基づき進めるべきではないか。

**【藤木副市長】**職員は行動基準

か。要は「合特債で急ぐので住民の理解はないが議会では認める」という事。市計画の公共施設見直し手順書に基づき進めるべきではないか。

**【教育長】**手順に従い粛々と進めている。

**【質問】**手順書には住民と協議して進めるという当たり前の事が書いてあり、やっていることは違うのではないか。

**【藤木副市長】**人口が減っていく中で、広い自然、建物を市民で支えていく。市民一人ひとりの負担が重くなるので、知恵をだして考えましょうということ説明会をやらせてもらっている。

**【質問】**コンプライアンスとは何か。

**【伊藤副市長】**法令やあらゆる規則を守ることである。

及び責務に関する条例の中に現れている。

**【質問】**不祥事根絶や不正補助金の外部監査を行い市執行部のコンプライアンスの確立を進めているが、コンプライアンスとは法令遵守だけでなく、社会的倫理を守ることだ。職員には、決まりを守れ、守れと言いつつ市長自らが住民に「廃止は決めていない」と言いつつ廃止の議案を出す事は職員に示しがつかず「行政倫理」が問われるのではないか。

**【藤木副市長】**説明会の時期が早ければよかった。体育館公民館は利用しない市民も税負担しており、市として総合的に判断して進めている。

一般質問

室岡 啓史 議員

# PDCAサイクルで見える化と改善を



**【質問】** 佐渡の農山漁村の生業を大切にし、集落でかけがえのない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指す。首長たるもの、シンプルかつ明確なビジョンを常に言葉で発信し続け、市民全員と世界観を共有するという、とてつもなく大変かつ重要な仕事をする必要があると考えるが。

**【市長】** 最上位ビジョンを一言でいえば『佐渡の活性化』である。市民の方との情報共有はまだ不足しているの、より一層分かりやすい説明、見える化に努めて参りたい。

**【質問】** 決算審査特別委員として昨年度の決算審査を行った。各施策について費用対効果を問うという趣旨であるが、定性分析と比べ

て定量分析が不足しているという状況であった。重要なデータがまとった表については各課で作成しているものの、もう一步踏み込んだ分析やグラフ化等、資料の見える化が不十分。また、事業活動における生産・品質管理等の業務を円滑に進める手法の一つ『PDCAサイクル』①Plan（計画）→②Do（実行）→③Check（評価）→④Act（改善）の4段階を繰り返すことで、各施策を継続的に改善する必要があると考えるが。

**【市長】** 最少の経費で最大の効果を得られるよう『PDCAサイクル』を回し、改善を積み重ね、正確な分析による検証が重要。定量分析、視覚化を積極的に取り



行政でもPDCAサイクルを

**【質問】** 意識改革について。最近、市の三役経験者から興味深い話を聞いた。職員はそもそも市長に従う姿勢が備わっており「市民に選ばれた市長にはついて行く」と言うDNAがある。しかし、市長に近づけば近づくほど評判が悪くなることも知っている。最近市民から頻繁に聞くのは、市長は前例踏襲を否定し、就任当初ちやぶ台をひっくり返したが、その後明確なビジョンが見えない。市長として何をやりたいのか全く分からない。

**【市長】** 議員の質問に対し、こちら側の考え方、施策などについて答える場だと考えている。

**【質問】** 平成27年度の職員数と人件費の総額、臨時職員との賃金を問う。

**【総務部長】** 平成27年度の正規職員1215人、臨時職員515人、合計で1730人である。人

件費総額は正規職員88億9045万5000円。臨時職員は1億9786万3000円。1時間当たりの賃金は、正規職員1904円、一般事務臨時職員840円になる。

**【市長】** 佐渡市のホームページでは、職員数は正規職員・臨時職員・非常勤職員の合計で1215人になっているが。

**【総務部長】** 佐渡市のホームページには1215人「職員数は正規職員、臨時、非常勤職員の合計です。特別職は含みません」との記載があるが、正規職員のみという事で、注意書きが間違っており、大変申し訳ない。

**【質問】** すぐに対応できるか。

**【市長】** 完全な誤りであり、すぐに修正をする。

一般質問

祝 優雄 議員

# 市長の政治姿勢について





一般質問

近藤 和義 議員

# ダビンチ手術の導入と 特養ホームの増床を



**〔質問〕** ダビンチは「医療の均霑化<sup>きんてんか</sup>」を可能にしたもので、地域間格差・施設間格差・術者間格差を減らすことができる最先端の手術支援ロボットである。佐渡においての医師・医療関係者不足の改善や、高齢者に対して術後の痛みが少なく回復が早く、合併症リスクが低減される。本市へのダビンチ手術の導入を検討すべきである。

※均霑化：医療サービスなどの地域格差などをなくし、全国どこでも等しく高度な医療をうけることができるようにすることを指す語。

**〔市長〕** ダビンチ手術の導入については、導入費と維持経費のコストデメリットや、医師が訓練に多くの時間を割かれることにより実質的な医師不足に陥るなどのことから、一般病院での導入は困難との意見を医療

関係者から聞いている。**〔質問〕** 佐渡市の高齢化率は現在40・5%で、既に国の50年後の推計値38・4%を大きく上回っている。特別養護老人ホーム待機者は400人を超え、介護離職者も増加している。第7期介護保険事業計画に、特養ホーム100床

整備を位置付けるべきである。

**〔市民福祉部長〕** 議員資料の通り、本市は後期高齢化率が高く、ひとり暮らし等の高齢者も多いので、ある程度の数を盛り込んでいく考えである。100床も考慮しながら広域型特養ホーム整備を検討したい。



da Vinci Xi Surgical System 2015



**〔質問〕** 市長は、前市政での佐渡版所得補償制度を廃止、皇室献上米の交渉を中断、また色彩選別機補助制度も廃止するとしているが、来年から7500円／10aの直接支払いがなく、危機状況の基幹産業である本市農業が更に低迷するが、どのような政策で維持・発展させるのか。**〔市長〕** 今後は、大規模化・複合化の営農モデルをつくらせていく事が一番大事だと思っている。



緊急質問

祝 優雄 議員

# 緊急事態に対する対応について

**〔質問〕** 北朝鮮の船と思われる難破船と、その乗組員と思われる遺体の漂着が続いている。北海道で起きるような事案が佐渡でも起きるのではないかと深刻に受け止めている。この事態を受け、国との連携はどの様になっているのか。市は年末年始に独自の監視体制が必要と思うが考えはあるのか。

また、この事態を速やかに議会に報告すべきではなかったか。

**〔市長〕** 11月に入り秋田県や北海道で北朝鮮国籍と思われる船員が乗っている木造船が発見された。佐渡市内においても、漂着船が相次いで発見され、遺体もあがっている。これを踏まえ、12月1日と3日に緊急情報システムや市民メール等を使って、不審船を発見した時はむやみに近寄ることなく、警察署や海上保安署へ通報するように呼びかけた。監視体制については、警察等と常に連絡をとり対応していきたい。内閣府からの連絡は現在のところない。

## 緊急質問

**〔質問〕** 海岸線の集落は高齢化が進ん

でおり、消防団や市独自の巡視体制を整えることが必要と思う。また、佐渡市が関係市町村の首長と連携を取って国に働きかけるべきだと思いがいかか。**〔市長〕** 年末年始の基本的な対応並びに事案が発生した場合の対応などを具体的に詰めて行く。国や県への要望も一生懸命努力を続ける。



# 要望・意見に対する市の対応状況

平成29年第7回定例会及び第8回臨時会において、各常任委員会が議案に対して付した要望、意見に対しての、市の処理状況を報告します。

## ■第7回定例会

### 専決処分の承認を求めることについて (平成29年度佐渡市一般会計補正予算(第4号)について)

#### ○総括的事項

##### 意見・要望

今回のような甚大な災害復旧の対応に当たっては、広く被災集落や自主防災組織から被害状況の報告を吸い上げ、被災箇所にも漏れがなく集落等の要望を十分に反映できるよう、当該箇所付けに係る予算を計上するよう強く求める。

**対応状況** 災害の情報収集について、町内会や自主防災組織等、地域と連携して被害情報の収集及び伝達を行う。

また、地域からの情報収集・伝達をはじめとする自主防災活動の中核的人材となる、地域防災リーダーの育成に努める。

なお、嘱託員会議又は地域防災リーダー研修等で説明、協力依頼を行っていく。

### 平成29年度佐渡市一般会計補正予算(第5号)について

#### ①温泉管理運営事業について

##### 意見・要望

ワイドブルーあいかわの修繕料及び施設改修工事については、修繕内容と補正予算の実行が見通せる見積書を徴し、委員会の理解を得るまでは予算の執行を見合わせる。

**対応状況** 10月11日開催の社会文教常任委員会において、修繕内容とその必要性等について、保守点検報告書及び見積書を配布の上、説明した。

#### ②公共施設災害復旧事業について

##### 意見・要望

ビューさわたに隣接する温室脇斜面の崩落現場災害復旧工事については、何らかの起債対応を善処すべきであり今後このような事例があった場合、輕輕に単費で対応することのないよう求める。

**対応状況** 今後も、このような事例があった場合は、国県補助金等の特定財源の充当の可能性について、関係課と十分に検討する。

#### ③戦略的観光誘致促進事業について

##### 意見・要望

当該事業は、来年度の観光事業を計画・実施していくために、今年から準備を行う必要があることから債務負

担行為を設定するものであるが、数年の実績に対して費用対効果が見合っていないため、それを十分に検証した上で計画を策定し、実施すること。

**対応状況** 当事業は、観光コンテンツの中心である世界遺産を目指す相川エリアでのまち歩き環境の整備とその他の観光コンテンツのライナーバスによる利便性向上、繁忙期のバス不足の解消、通年観光を促進するために年度当初から商品造成を図るものである。

貸切バス不足対策は、来島を計画する修学旅行や一般団体客受入の取りこぼしを解消するため、一定の費用対効果があったと考える。

旅行商品造成支援では、H29年度は1人泊あたり200円のインセンティブで行ったが、改善を図り、より効率的な実施を目指しバス代の補助という内容で調整する。

また、循環バスについては、地域の飲食店などを巻き込んだ仕組みが構築できつつあるが、乗客数が伸びないことから、小型のバスでの運行やコースの変更などを視野に入れ協議中である。

#### ④(継続費)史跡佐渡金銀山遺跡ガイダンス施設整備事業について

##### 意見・要望

当該事業は、史跡佐渡金銀山遺跡ガイダンス施設を2か年で建設するための工事費等であるが、施設整備にあたっては内容を精査し、趣旨に見合った施設とすること。

**対応状況** 来訪者に価値等の情報をわかりやすく提供する展示棟を中心に、世界遺産推進課職員による町並み保存の相談窓口、世界遺産関係の講演会や修学旅行の小中学生の学習スペースを有する施設として、史跡のガイダンス施設に見合った施設とするため、内容の精査を行いながら実施設計作業を進めている。

#### ⑤農業施設管理事業について

##### 意見・要望

当該事業は、金北の里と妙見荘を繋いでいる渡り廊下の撤去や電気等インフラの分離等を行うための工事費等であるが、有効活用を図るべき妙見荘等周辺施設の事業計画が進んでいないため、早急に計画を策定し、報告すること。

**対応状況** 妙見荘に隣接する湯場の宿については、用途制限を設けず、民間への有償貸付を条件として借受者を募集する。

## ■第8回臨時会

### 平成29年度佐渡市一般会計補正予算(第7号)について

#### ①合併特例債事業について

##### 意見・要望

合併特例債については、その主旨に沿って限度額を全て使い切るよう強く求める。

**対応状況** 公共施設の整備等において、従来から合併特例債の対象となるものについては、活用を前提としており、今後も有効に活用する。

#### ②体育施設整備事業について

##### 意見・要望

南佐渡離島開発総合センター及び小木体育館の解体について、説明会を開催した時点で補正予算が組まれていたことは理解し難い。地域関係団体等と協議を重ねる中で、解体の了解を得ているのであれば、全体の説明会を含めた事務手続きを早期に実施すべきであったと指摘する。

**対応状況** 指摘を踏まえ、予算計上と説明会等については、適切なスケジュール管理により進めるものとする。